

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 美食文学逍遙——福田育弘
- 42 新・不養生のすすめ——大西睦子
- 51 西風
- 59 交差点——読者の声・編集者の声

社会・文化



高齢化で「抗加齢」の市場は膨張。真偽不明な商品や治療が世に溢れ、参入する企業も医師も増え続ける。騙される消費者が多すぎるからだ。医学界も加担する悪徳商法に、業界の自浄作用は期待できない。(110頁)

- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 東京の奇怪な秘境「青ヶ島」——公共事業で生き抜く「日本最小の村」
- 102 東京医科歯科大で進む「学長専横」——訴訟沙汰も起こる不穏な学内
- 104 官僚とゼネコンの楽園「海外建設協会」——安倍ODA「三兆円」にタカる面々
- 106 大阪地震で増す「活断層」への誤解
- 108 売国政権の極み「水道法改悪」——民間・外資に「命の水を売り渡す愚劣日本のサンクチュアリ」●シリーズ 526
- 110 嘘だらけ「アンチエイジング」——医師と業者が貪る「七千億円市場」
- 88 皇室の風——岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 美の艶話——齊藤貴子
- 94 本に遇う——河谷史夫
- 96 をんな千一夜——石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

経済

- 60 米「社債バブル」という時限爆弾——日本も襲われる「次の金融危機」
- 62 ドイツが狙う自動車部品の「覇権」——「自動運転」で圧倒される日本勢
- 64 国策資源会社「INPEX」の放蕩三昧
- 67 連載「クロゾーブアップ」中村知美(SUBARU新社長)——不正事件と「対米輸出」の「重苦」
- 68 連載「企業研究」三菱マテリアル
- 72 トヨタ「相談役・顧問」肅清の真相——茶坊主「小林副社長」の跳梁跋扈
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」みちのく銀行——ぼったくるのか「血税」三百億円
- 80 大塚製薬「カネまみれ」営業の悲哀——犯罪を厭わぬ社風は今も
- 82 みずほ「システム問題」で日立の重罪——旧興銀との「謀略」が招いた混乱
- 84 トヨタの激怒に震える「電通」
- 86 広告業界が驚く童男「ドケチ路線」
- 86 NIT「鵜浦人事」に秘められた野望
- 「グループ再統合」へ虎視眈々

三菱の「殿様・俺様」体質がまた露呈。利益が全く上向かぬ無能経営の責任を現場に押し付け、不正は拡大の一途に。プライドだけは一流の社風が、反省と再生を妨げる。顧客離れが進めば、危機は近い。(68頁)



政治



日朝のパイプがない中で、金正恩への「口利き」を懇願したのは、森喜朗とつながるIOCのバツハ会長。トランプに次いで、打つ手は他方本願ばかり。政権はただ、拉致問題を政治利用するだけだ。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 安倍「財政破壊」に加担する財務省
- 48 国庫を喰い物にする「政権延命術」
- 48 外交の安倍という虚名
- 拉致交渉で頼る森喜朗「IOCルート」
- 52 連載「政界スキャン」拉致問題を「踏み台」にする安倍政権
- 54 安倍洋子が悩む「岸信夫」健康不安
- 「王朝」の継承に生じる誤算
- 56 止める者なき防衛予算「乱費」——「陸上イージス」導入の不埒な裏側
- 58 連載「罪深きはこの官僚」浅川雅嗣(財務省財務官)——名うての「プレーボーイ」の女と野望

WORLD

- 3 連載「巻頭インタビュー」武者小路公秀——地に堕ちた日本人の「道義」
- 6 特別リポート
- 6 死期がきた「戦後国際秩序」——「民主的世紀」から「力と対立の時代」へ
- 12 トランプ政権が米国有地「大量乱売」——環境保護は無視してカネ儲け
- 14 米国の闇を支配する「監獄ギャングル」——FBIも手に負えぬ凶悪犯罪の源
- 16 バルト三国を「見捨てる」NATO
- 18 ロシアからの防衛で「同盟の限界」
- 22 WORLD ● 情報カプセル
- 22 イランとイスラエル「課報戦」が過熱——核施設や要人を狙う醜い争い
- 24 中国の巨大産業「民間警備会社」——官民の海外進出を支える「軍別動部隊」
- 28 アフガニスタンが再びテロの巣窟に——イスラム国も蔓延る「米軍の泥沼」
- 30 WTO「空中分解」の瀬戸際——米国の狂気が最大の脅威に
- 32 呪われた外務省「ロシア・スクール」
- 対露外交「崩壊」の無惨な裏事情
- 34 韓国は第二の南ベトナムとなるか
- 中朝の策謀に自らはまる文在寅
- 36 中国地方財政に迫る「同時発火」
- 各地で「不穏な騒動」が続発中
- 38 連載「現代史の言霊」一九二八年ロシア「七月の埋葬」

西欧民主主義陣営には対立と分断が明確になり、中国を中心とした権威主義陣営の団結が鮮明に。北朝鮮の国際社会復帰は、戦後秩序の崩壊の象徴だ。トランプ乱世に現れるのは、新たな形の「冷戦」である。(6頁)

